

「MD英語」



執筆者による

2024・夏期講座



英語で 「知」を読む講座

【日時】 8月5日(月)～8月9日(金)17:30～20:45

【対象】 高3生・高卒生・大学生 ※オンデマンド（後日配信）での受講・復習も可能です。

【受講料】 40,000円(初めて授業を受ける方は、受講料の他に入会金10,000円。大学生割引あり)

【会場】日曜講座教室 【申込】メールまたはお電話でお願いします。

受講生の声

英語が、単に問題を解くための「出題文」であり、字義を追えばよいものではなく、日本語で本を読む際と同様に、そこからさらに考えをめぐらしてこそ、であることを強く意識するいい機会になるはず。物事を見る目を養えてよかった。(Mさん)

この講座では特に読解力・考察力・推理力を鍛えることができた。AO入試の面接で、この講座で読んだ本の感想を述べたら、面接官の先生に「そんな本、どこで読んだの?」と、びっくりされた(Nさん)

英語を読む能力にとどまらず、むしろ疑問を持ってどこまでテキストを読めるかが問われる講座。普段あまり読まないような文章を読むことができよかった。先生が論文に書かれていること以上に深い考察をしてくれたので、とてもためになった。(Kさん)

英語の勉強だけでなく、この講座で読んだ論文の内容はとても興味深いものだった。正直、私にとっては難しかったけど、どれも学ぶべき内容だったので、英語力をつけてもっと論文を読みたいと思った。(Fさん)



発見する喜び、考える楽しさを味わうなら

大学受験日曜講座

渋谷区代々木 2-6-8 中島第一ビル3F

☎ 0120-777-169 ✉ goukaku@nichiyō-kouza.com





英語で「知」を読む講座

新しい世界が君たちの目の前に

英文に限らず文章を読むときにはまず、**筆者が何を言いたいのかを的確に把握**することが目標です。文法や構文、単語や熟語の知識などはそのための道具に過ぎません。

この目的を忘れた勉強は、結局何の实も結ばない不毛なものに終わってしまいます。

断片的な知識をただ詰め込むことから、論理的思考力を鍛えることへと、**勉強の重点を移していく**ことが肝要なのです。

そしてさらに読みを深めていくためには、取り上げられているテーマに対する好奇心や、内容を理解するための背景となる知識、想像力、豊かな感受性なども必要になってきます。

この講座の目標は、**あるテーマと思想を持った長文を読みこなす**ことを通じて、**このような力を鍛える**ことです。

私たちを取り巻く世界は、近年さらに一層変貌の速度を速めています。

地球規模に成長したさまざまな危機は人類の、そしてあらゆる生命の生存を脅かしているばかりではなく、より困難でより深く本質的な問題は、日々の現実として生きている日常の中にあります。

大きな歴史の転換点であることは間違いないでしょう。

私たちはまさに人間の英知が問われる時代に生きているのです。

既成の枠組みや権威が次々と崩れ、これまでの出来合いの方法論ではこの事態を乗り切ることは難しいでしょう。ことの本质が何であるのか自分の頭で考えること、そして世界が新たな様相で見えてくるような視点を獲得することが、今こそ必要とされているのです。

そのためには、できうる限り先入観を排して事態・事物を直視しようとする認識に基づいて、できうる限り自由にものを考える力を鍛えていかなければなりません。

文章を読むということ、英文の読解力をつけるということは、こうした力を、すなわち**混沌とした未来を切り開く知性を身につける**ということでもあるのです。

少々きついものになるかもしれませんが、知的好奇心を持って取り組めば、**新しい世界が君たちの目の前にキッと現れてくるはず**です。

これまでに、こんな書籍を読んできました。

The Impulse Society 『衝動に支配される世界』	Paul Roberts
On Western Terrorism 『戦争のからくり~ヒロシマからドローン兵器の時代まで』	Noam Chomsky Andre Vltchek
Proust And The Squid The Story and Science of the Reading Brain 『プルーストとイカ ~読書は脳をどのように変えるか』	Maryanne Wolf
The Monk and the Philosopher 『僧侶と哲学者』	Jean-Francois Revel Matthieu Ricard
WHO RULES THE WORLD? 『誰が世界を支配しているのか?』	Noam Chomsky
A Short History of Progress 『暴走する文明』	Ronald Wright
The GOD Delusion 『神は妄想である』	Richard Dawkins
Galileo's Finger 『ガリレオの指』	Peter Atkins
After The Empire 『帝国以後 アメリカ・システムの崩壊』	Emmanuel Todd
Collapse 『文明崩壊』	Jared Diamond
Representations of the Intellectual 『知識人とは何か』	Edward W. Said
DEBT: THE FIRST 5,000 YEARS 『負債論 貨幣と暴力の5000年』	David Graeber
Nature Via Nurture 『やわらかな遺伝子』	Matt Ridley
WAYS OF FORGETTING, WAYS OF REMEMBERING 『忘却のしかた, 記憶のしかた』	John W. Dower